

佐賀市上下水道局電子入札執行要領

(趣旨)

第1条 この要領は、佐賀市上下水道局が発注する建設工事、業務委託及び物品等の購入に係る競争入札及び見積書徴取の手続を佐賀市電子入札システム（以下「電子入札システム」という。）により実施することに関し、佐賀市財務規則（平成17年佐賀市規則第62号）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 電子入札システム 本市が行う入札及び見積書徴取に関する事務を電子情報処理組織によって処理する情報処理システム
- (2) 電子入札 電子入札システムを利用して電磁的記録の送受信により行う入札又は見積書徴取に関する手続
- (3) 紙入札 電子入札システムを利用しないで書面により行う入札又は見積書徴取に関する手続
- (4) ICカード 電子署名及び認証業務に関する法律（平成12年法律第102号）に基づき、主務大臣の認定を受けた特定認証業務を行う者が発行した電子的な証明書を格納しているカードのうち、電子入札コアシステムに対応しているカード

(対象工事等)

第3条 電子入札の対象案件は、建設工事、業務委託及び物品等の購入のうち、佐賀市上下水道事業管理者（以下「管理者」という。）が指定するものとする。

(利用者の範囲)

第4条 電子入札に参加できる者は、佐賀市競争入札参加資格者名簿に登録されている法人又は個人のうち、次条の規定による利用者情報の登録を行ったものに限るものとする。

(利用者情報の登録等)

第5条 電子入札に参加しようとする者は、あらかじめ、電子入札システムの利用に必要な情報（以下「利用者情報」という。）を電子入札システムに登録しなければならない。

- 2 利用者情報を登録する際には、ICカードを使用しなければならない。
- 3 前項の規定にかかわらず、物品等の購入に係る電子入札に参加しようとする者は、ICカードを使用しないでユーザID及びパスワード（以下「ユーザID等」という。）により利用者情報を登録することができるものとする。
- 4 利用者情報を登録する際に使用したICカードが失効した場合は、新たに取得したICカードにより再度利用者情報を登録しなければならない。
- 5 登録した利用者情報に変更が生じた場合は、直ちに利用者情報の変更を行わなければならない。

(ICカードの名義)

第6条 ICカードの名義人は、佐賀市競争入札参加資格者名簿に登録された個人又は法人の代表者若しくは代表者から入札、見積及び契約締結に関する権限の委任を受けた者(以下「受任者」という。)とする。

2 電子入札に参加しようとする者が特定建設工事共同企業体である場合のICカードの名義人は、当該特定建設工事共同企業体を代表する構成員の代表者又は受任者とする。

3 名義人の変更等により利用者情報登録済のICカードが使用できなくなった場合は、速やかにICカードを再取得するとともに、前条第4項の手続を行わなければならない。

(ユーザID等の管理)

第7条 ユーザID等を登録した者は、ユーザID等を自己の責任において確実に管理しなければならない。

2 ユーザID等を忘失し、又は紛失し、その再発行を求める者は、直ちにID・パスワード再発行申請書により申請するものとする。

(案件登録)

第8条 管理者は、電子入札を行う案件を、電子入札システムに登録するものとする。

(公告及び通知)

第9条 管理者は、一般競争入札を電子入札で行う場合には、入札公告に電子入札により実施する案件である旨を明記しなければならない。

2 指名競争入札及び見積書の徴取を電子入札で行う場合には、指名の通知又は見積依頼(以下「指名通知等」という。)を、電子入札システムを使用して行うものとする。

(入札参加申請)

第10条 電子入札で行う一般競争入札に参加しようとする者は、競争入札参加資格確認申請書及び入札公告に定める入札参加申請の必要書類(以下「申請書等」という。)を、電子入札システムを使用して提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、入札参加申請の必要書類の提出方法について、入札公告で電子入札システムを使用する以外の方法を記載している場合には、この限りでない。

3 管理者は、申請書等を受理したときは、速やかに電子入札システムにより受付表を発行するものとする。

(入札書等の提出)

第11条 入札参加者は、管理者があらかじめ指定する入札書又は見積書(以下「入札書等」という。)の提出締切日時までに、電子入札システムに入札金額又は見積金額(以下「入札金額等」という。)及び電子入札システムが保有するくじ機能(以下「電子くじ」という。)で使用する入札者が任意に設定できる任意の3桁の数字(以下「くじ番号」という。)等の必要事項を入力し、入札金額等の内訳明細書を付して送信することにより入札書等を提出しなければならない。

2 管理者は、入札書等を受理したときは、速やかに電子入札システムにより受付表を発

行するものとする。

- 3 入札参加者は、一旦提出した入札書等の確認及び書換え、引換え又は撤回はできないものとする。
- 4 第1項の規定にかかわらず、入札参加者は、次の各号のいずれかに該当する場合において、管理者に紙入札移行承諾願（第1号様式）を提出し承認された場合に限り、紙入札での参加ができるものとする。
 - (1) ICカードが失効、閉塞又は破損等で使用できなくなり、電子入札における所定の期日までに再発行される見込みがない場合
 - (2) ICカードの名義人に退職、異動等の事由が生じたため、新たな名義人によるICカード取得手続中の場合（当該取得手続が確認できる場合に限る。）
 - (3) ユーザID等の忘失又は紛失に伴う再発行の手続中の場合
 - (4) 前3号に掲げる場合のほか、入札参加者の責に帰することができない事由があると認められ、かつ、入札手続の進行に支障が生じない場合
- 5 管理者は、紙入札移行承諾願を承認した場合、速やかに当該入札参加者を紙入札参加者として登録し、当該入札参加者に対しては、以後、電子入札に係る作業は行わないよう指示するものとする。ただし、既に実施済の電子入札システムによる書類の送受信は有効なものとして取り扱い、再度の交付又は受領は要しない。
- 6 紙入札における入札書等の提出期限は、電子入札における入札書等の提出締切日時とし、くじ番号を記載した入札書等及び入札金額等の内訳明細書を、当該電子入札案件の名称及び会社名を記入した封筒に入れ、のり付けして封印した後、財務課に持参しなければならない。
- 7 入札書等の提出締切日時までに入札書等を提出していない入札参加者（入札を辞退した者を除く。）については、棄権したものとして取り扱う。

（入札の辞退）

第12条 入札参加者は、電子入札を辞退するときは、電子入札システムにより辞退届を提出しなければならない。ただし、紙入札参加者が辞退するときは、書面による辞退届を提出しなければならない。

（開札）

第13条 管理者は、希望する入札参加者の立会いの上で、電子入札システムにより開札を行うものとする。

- 2 紙入札による入札参加者がいる場合は、当該入札参加者を立ち会わせて上で、入札書等を開封し、入札金額等及びくじ番号を電子入札システムに入力した後、開札を行うものとする。
- 3 前2項の場合において、開札に立ち会う入札参加者がいない場合は、当該入札事務に関係のない職員を立ち合わせるものとする。

（くじによる落札者の決定）

第14条 前条第1項の開札の結果、落札となるべき同価の入札をした者が2人以上あるときは、電子くじにより落札者を決定するものとする。

(落札者となるべき者がいない場合の措置)

第15条 管理者は、落札者となるべき者がいないため、再度の電子入札（再々度の電子入札を含む。以下同じ。）に付するときは、再度の入札書等の提出締切日時を指定し、電子入札システムを使用して入札参加者（再度の電子入札に参加できない者を除く。）に通知しなければならない。ただし、開札に立ち会わない紙入札参加者に対しては、電話又はファックス等の方法で通知するものとする。

2 落札者となるべき者がいないため、電子入札を中止するときは、電子入札システムを使用して、入札参加者に通知しなければならない。

(落札者決定の保留)

第16条 管理者は、落札者の決定に一定以上の時間を要すると判断したときは、落札者の決定を保留することができるものとし、電子入札システムを使用して、入札参加者に通知するものとする。

(日時又は入札方法の変更)

第17条 管理者は、案件登録後、天災、広域停電又は電子入札システムの障害等により電子入札システムの利用が一時的に困難となった場合において、入札書提出締切日時又は開札日時等の変更が必要と判断したときは、当該日時等を変更するものとする。

2 管理者は、案件登録後、天災、広域停電又は電子入札システムの障害等により電子入札システムの利用が困難となった場合において、電子入札の確実な実施が見込めないと判断したときは、紙入札に変更するものとする。

3 前2項の場合において、管理者は、入札公告又は指名通知等の変更を行うなど適切な措置を取るものとする。

(電子ファイルの作成基準)

第18条 電子ファイルでの提出を求める書類の作成に使用するアプリケーションソフト及び保存するファイルの形式は、別表のとおりとする。

2 電子ファイルを圧縮するときの圧縮形式は、L Z H形式又はZ I P形式とする。ただし、自己解凍方式は認めない。

3 入札参加者は、ウイルス対策用のアプリケーションソフトを導入のうえ、常に最新のパターンファイルを適用して資料を作成し、添付する際に必ずウイルス感染のチェックを行わなければならない。

4 管理者は、提出された電子ファイルがコンピュータウイルスに感染していることが判明した場合は、直ちに閲覧等中止し、当該電子ファイルを提出した入札参加者に対し、コンピュータウイルスに感染している旨を連絡し、再提出の方法について協議するものとする。

(ICカード等の不正使用等)

第19条 入札参加者がICカード又はユーザID等（以下「ICカード等」という。）の不正使用等（他人のICカード等を不正に取得し、名義人になりすまして入札に参加し、又は参加しようとした場合等をいう。以下同じ。）をしたときは、次の各号に掲げるICカード等の不正使用等が判明した時点の区分に応じ、当該各号に定める取扱いができるものとする。

- (1) 開札までにICカード等の不正使用等が判明した場合 当該入札参加者について、当該案件への入札参加資格を取り消すとともに、既に入札済のものは、当該入札を無効とする。
 - (2) 落札決定後、契約締結前までに落札者によるICカード等の不正使用等が判明した場合 落札決定を取り消す。
 - (3) 契約締結後に落札者によるICカード等の不正使用等が判明した場合 契約の履行状況等を考慮して契約を解除するか否かを判断する。
- 2 前項に定めるもののほか、当該不正使用等をした入札参加者に対し、指名停止等の措置をとることができる。

（補則）

第20条 この要領に定めるもののほか、電子入札に係る事務の取扱いについては、入札公告、指名通知等及び競争入札に係る事務の取扱いに関する要領等の定めるところによる。

附 則

（施行期日）

- 1 この要領は、平成24年8月1日から施行する。

（要領の廃止）

- 2 佐賀市上下水道局電子入札執行要領（平成24年4月1日施行）は、廃止する。

（経過措置）

- 3 この要領の施行の日の前日までに、この要領による廃止前の佐賀市電子入札執行要領の規定によりなされた手続きその他の行為は、それぞれこの要領の相当規定によりなされたものとみなす。

別表（第18条関係）

アプリケーションソフト	保存するファイルの形式
Microsoft Word	Word2003 以下のバージョンで保存したファイル
Microsoft Excel	Excel2003 以下のバージョンで保存したファイル
その他のアプリケーション	PDFファイル（AdobeReader8 で開くことができるもの。） 画像ファイル（JPEG、TIFF 又は GIF 形式）

第1号様式（第11条第4項関係）

平成 年 月 日

佐賀市上下水道事業管理者 様

（建設業許可番号）

住 所

商号又は名称

代表者氏名

印

紙 入 札 移 行 承 諾 願

下記の工事（業務）の入札については、下記の理由により電子入札システムを使用して参加することができないので、紙入札への移行を承諾願います。

記

- 1 工事（業務）番号
- 2 工事（業務）名
- 3 電子入札により参加することができない具体的な理由

上記について承諾します。

なお、今後は、当該案件について電子入札システムを使用した手続は行わないで下さい。

また、入札の際は、入札書等提出締切日時までに入札書及び内訳明細書を持参してください。なお、入札書及び内訳明細書には、件名、入札参加者の商号名及び代表者氏名を記載し、使用印を押印してください。

平成 年 月 日

（会社名）

様

佐賀市上下水道事業管理者

印